



令和2年9月30日 11時

報道機関各位

令和2年（地独）北海道立総合研究機構 建築研究本部 研究成果報告会

道総研建築研究本部が取り組んでいる建築・まちづくりの研究について、令和元年度終了課題を中心に近年の研究成果を報告します。口頭発表、ポスター発表を行うほか、第3部の全体討論会で会場開催とWeb開催のハイブリットで実施します。多くの皆様にご来場いただけますよう、ご案内いたします。

なお、本報告会は平成26年より旭川市と札幌市において交互開催としており、本年は旭川市のみでの開催です。

- ◎日時 令和2年**10月15日**（木） 10:00～16:45
- ◎場所 **道総研 建築研究本部（旭川市緑が丘東1条3丁目1-20）**
- ◎プログラム 別添チラシのとおり
- ◎対象 建築・住宅産業関係者、市町村等行政関係者、研究テーマに関心のある一般の方
- ◎参加費、申込等
参加費無料・定員50名
(会場開催、Web開催ともに事前申し込みが必要です。)
- ◎報道（取材）に当たってのお願い
開催に関する事前の報道及び当日の取材について、よろしくお願いいたします。
- ◎同時配付先 上川総合振興局記者クラブに対しても資料提供しております。

<お問い合わせ>

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構（道総研）

建築研究本部 企画調整部 企画課（担当者：本荘・高倉）

電話 0166-66-4218 ※平日 8:45～17:30 土・日・祝日はお休みです。

URL <http://www.hro.or.jp/list/building/>



道総研 建築研究本部

令和2年（2020年）
研究成果報告会

10月15日（木）10:00～16:45

来場者定員：50名

会場開催とWeb開催の
ハイブリットで実施します

研究報告

10:10～11:25 題1部 建築研究部
11:25～12:10 第2部 安全性能部
13:45～15:10 第3部 地域研究部

トークセッション

15:20～16:45

人口減少時代の地域づくりを考える

- ・集落経営、地域運営、地域交通の今後は？
- ・人口減少を見据えた未来のまちづくりとは？



お問合せはこちら

地方独立行政法人北海道立総合研究機構 建築研究本部 令和2年(2020年) 研究成果報告会 プログラム

10:00 開会あいさつ
建築研究本部の研究展開

第1部 建築研究部（北方建築総合研究所）

10:10 建築研究部の研究展開

会場・Web 同時開催

- 北総研防火木外装
ー断熱先進地北海道から火災に強い木造外壁の提案ー 糸毛 治
- 真冬でもハウスで野菜をつくる
ー北海道型ハウスの無加温周年利用技術ー 月館 司
- 木材の利用促進をはかるために
ーCLTあらかし仕上げ床の遮音構法開発ー 飯泉 元気

第2部 安全性能部（建築性能試験センター）

11:25 安全性能部の研究展開

会場・Web 同時開催

- 外壁性能の新たな評価手法
ー湿式外張断熱工法の評価手法の開発ー 遠藤 卓
- RC柱の耐力を的確に評価する
ーRC造異形柱の構造特性の把握ー 本間 裕二

12:10 お昼休み（60分）

ポスターセッション※次ページの研究一覧へ

13:10 昨年度終了した研究課題について研究職員がお答えします

会場開催

第3部 地域研究部（北方建築総合研究所）

13:45 地域研究部の研究展開

会場・Web 同時開催

- 地震・津波から”いのち”と”まち”を守る
ー積雪・暗夜でも生命を守る津波防災対策の実証的展開ー
ー建築物応急危険度判定の事前計画策定ー 戸松 誠
- 移住・定住促進のカンどころ
ー移住定住のための住宅施策効果の検証ー 佐々木 優二
- 高齢者の地域活動におけるやりがいとは
ー高齢者の地域貢献活動の分析ー 長谷川 祥樹
- その課題、道総研がお役に立ちます
ー市町村への技術支援ー 地域研究部職員

15:10 休憩（10分）

トークセッション

15:20 人口減少時代の地域づくりを考える

会場・Web 同時開催

北海道内の多くの地域が縮小や再編の課題に直面している現在、これからの地域のあり方を考える具体的な解法の一つとして、農村集落を対象にした北方建築総合研究所の研究課題を取り上げ、人口減少時代の地域づくりに向けた議論を公開で実施します。

- ・ 集落経営、地域運営、地域交通の今後は？
- ・ 人口減少を見据えた未来のまちづくりとは？

ご質問 お受けします

16:45 閉会

ポスターセッションの研究一覧

※ 会場内でポスターセッションを開催するとともに、ホームページでもミニ動画を公開します。

● 建築研究部

- ・ 道産資材を用いた木造高断熱外壁の防耐火構造の開発
- ・ 保温装置と耐雪性を強化した北海道型ハウスの無加温周年利用技術の確立
- ・ 道産 CLT 建築物の環境性能向上に関する研究
- ・ 告示化に向けた可燃性断熱材を用いた防耐火外壁の仕様基準の検討
- ・ 湿式外断熱工法の非破壊診断の可能性に関する検討
- ・ 建築材料の耐久性モニタリングと評価に関する基礎的研究
- ・ 多孔質建材の内部損傷評価に基づく促進試験条件の検討

● 安全性能部

- ・ 湿式外張断熱工法の劣化対策性能の評価手法の開発
- ・ 鉄筋コンクリート造異形柱の構造特性把握・設計法構築のためのせん断応力に対する構造耐力・破壊特性
- ・ 建築確認構造審査の技術的支援と道内建築物の安全性向上のための特性分析
- ・ 吹込み用繊維質断熱材の長期断熱性能の研究

● 地域研究部

- ・ 農村集落における生活環境の創出と産業振興に向けた対策手法の構築
- ・ 津波による最大リスク評価手法の開発と防災対策の実証的展開
- ・ 北海道の想定地震に対応した応急危険度震前判定計画の策定に関する研究
- ・ 道内小規模市町村における移住・定住のための住宅施策の効果に関する研究
- ・ 高齢者の諸活動が地域の維持に与える効果
- ・ 道内リン循環利用に向けた地域需要供給の実態解明
- ・ 常呂川流域圏における人間活動と水・物質循環とのつながりの解明
- ・ ベイズ理論を用いた小規模町村の住宅ストック予測モデルの構築

参加のみなさまへの重要なお知らせ

- 来場のみなさまにおかれましては、マスク着用などの咳エチケットの励行、こまめな手指の洗浄・消毒をお願いします。会場内では各所に消毒液を用意しておりますので、どうぞご利用ください。
- 37.5度以上の発熱・咳など風邪の症状がある方、ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方がいらっしゃる場合は、来場をご遠慮ください。
- ZOOMによるWeb開催につきましては、インターネット回線の状況や機器の不具合などによって、視聴ができなくなる可能性があることを予めご了承ください。

建築研究本部 令和2年（2020年）研究成果報告会

参加申込書

メールアドレス nrb@hro.or.jp

返信先：FAX番号 0166-66-4215

申込締切10月8日（木）

Web(ZOOM)による参加 ・ 来場で参加(50名限定)

※どちらかに○を付けてください

会社名・所属		
ご住所（市町村名まで）		
代表者連絡先	電話	メール
	●Web(ZOOM)での参加を希望する方は、メールアドレスをお知らせください。 申込受付後に参加URLをお送りいたします。	
参加者氏名	()	()
	()	()
	()	()
質疑応答で聞いてみたい ことがありましたらご記 入ください		

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、メールまたはFAXでお知らせください。
申込み状況により締切日以降も参加を受け付けますのでお問い合わせください。

●会場

道総研 建築研究本部 旭川オフィス
(旭川市緑が丘東1条3丁目1-20)

●注意事項

- ・近隣には、ローソン（徒歩15分程）があるほか、飲食店はありません。
- ・会場には飲食可能なスペースがございますので、事前のご準備をお勧めいたします。

※詳細は下記URLを参照してください。

<http://www.hro.or.jp/list/building/index.html>

●アクセス

JR旭川駅から

○バス利用（抜粋）

旭川電気軌道

[7 1] 医大・緑が丘線（緑東大橋経由）

旭川駅 乗車→旭川医大前下車（徒歩約15分）

[8 2] 南高・緑が丘線（上川神社経由）

旭川駅 乗車→南高前下車（徒歩約10分）

[8 4] ひじり野・緑が丘・旭川線

旭川駅 乗車→リサーチ入口下車（徒歩約3分）

○タクシー利用

旭川駅前乗車→約20分

地方独立行政法人

北海道立総合研究機構 建築研究本部

建築性能試験センター・北方建築総合研究所

住所：〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1-20（北方建築総合研究所）

電話：0166-66-4211（代表） FAX：0166-66-4215



お問合せはこちら